

して期せずして満場一致合同に賛成せられまして茲に始めて創立實行委員二十三名を擧げる事になつたのであります、如斯諸君の意見の一致を見たるはごりもなをさす内外の現實に順應したる機宜の措置であるご吾々は左様に思ふのであります。

斯くして當日の會議を中止致して其翌四日再び此の協議を續行致しまして茲に創立委員長に岡崎憲氏を擧げ第二回の會議に於て組合長一名及び副組合長二名の選舉を致しました處組合長に檜崎氏副組合長に濱田國太郎氏及び拙者の二名が何れも多數に依り當選致しました其處で檜崎氏に組合長就任交渉を開始し前後五回の會見を重ね同氏も熟慮の上愈々三月十日右就任を承認致され不肖等二名も副組合長たる事を承認し別に此の委員中より起草委員其他必要なる特別委員を選舉致しまして其後實現せしめんがための方を講じ前後を通じて四回委員總會及び十數回の委員會を開き委員諸君の東奔西走日猶夜に次ぐの努力の結果今日茲に意義ある日本海員組合の發會式を擧ぐるに至つたのであります吾々實行委員は全海員諸君と共に欣喜奮躍に堪へず茲に謹んで創立經過の概要を申述べまして報告の挨拶に替へたる次第であります。

統一的團體ノ力ニ依リテ左ノ事業ヲ遂行シ以テ海員ノ本分ヲ全クシ併テ帝國海運ノ發展ニ資セムコトヲ期シ敢テ宣言ス

- 一、組合員品性ノ向上團體的精神及職業ニ對スル自尊心並ニ責任觀念ノ涵養組合員共同福利ノ擁護及増進ニ關スル事項
- 二、雇傭契約履行ノ監視、勞働條件及船内施設ノ改善法律上及社會上ニ於ケル海員ノ地位ノ向上及生活ノ安定促進ニ關スル事項
- 三、雇傭契約又ハ勞働條件其他組合ニ關スル爭議仲裁ニ關スル件
- 四、海員ノ無料職業紹介事務ニ關スル事項
- 五、機關雜誌又ハ新聞發行ニ關スル事項
- 六、購買組合設置ニ關スル事項
- 七、組合員ノ負傷、疾病、失業、養老ニ關スル共濟及海員寄宿舎、病院ノ施設

大正十年五月七日

日本海員組合

## 宣言

朗讀者創立委員 大道寺謙吉

海國タル我帝國ニ取リテ海運ハ立國ノ根幹ヲ爲ス重要産業ニシテ海員ハ海運ノ原動力デアアル苟モ海運ノ發展ヲ企圖セムトセバ海員ノ素質改善ト能率ノ増進トハ其先決問題ナリ特ニ國際海運競争ノ激烈ヲ極ムル今日ニ於テ然リトス

更ニ過般ノ對獨平和條約ニハ國際聯盟附屬ノ勞働編ヲ包含シ今後ノ海員問題ハ到底國內的ニノミ之ヲ取扱フコトヲ得ザルニ至リ既ニ昨年伊國ゼノアニ於テ國際海員勞働會開催セラレ幾多ノ協約案ヤ、勸告案、決議等採擇セラレタリ而モ是等ノ國際規約ヲ實施セムニハ必ズヤ純眞ナル海員團體ノ存在ヲ必要トス

即チ本邦海員ノ能率ヲ高メ海運ノ維持發展ヲ策スベキ國內的必要ト一ハ本邦海員ノ意思ノ代表機關ヲ組成スベキ國際的必要トニ促ガサレ茲ニ十數年來海員團體ノ責任者トシテ微力ヲ捧ゲ來リシ我等有志者相集マリ審議數月小異ヲ捨テ、大同ニ就キ群小既存、團體ヲ合同シ日本海員組合ヲ成立セシメタリ、今後ハ至誠一貫

## 日本海員組合 趣旨及綱領

朗讀者創立委員 醍醐資祐

趣旨

今ヤ社會ノ大勢ハ恰モ潮ノ湧クガ如ク滔々トシテ全世界ニ亘リ各國民衆ノ覺醒ヲ促シ就中各國民衆中最大多數ヲ占メテ居ル勞働階級ハ何レモ異口同音ニ平等生存ノ權利トシテ其境遇ノ改善福利増進ヲ叫ンデ居ル之ハ人類ノ社會トシテ當然ノ叫ビデアツテ當ニ斯クアルベキ筈デアアル隨テ此ノ大勢ハ到底人力ヲ以テ阻止シ得ベキモノニ非ザルコトハ明瞭デアアル若シ吾人ニシテ一朝此時機ヲ逸シ苟モ大勢ニ順應スルノ策ヲ怠ツタナラバ夫レコソ由々敷大事ニシテ海員共同ノ福利ハ永遠ニ實現シナイカモ知レヌ故ニ吾人ハ此ノ際斷乎トシテ從來ノ今日主義ヨリ脱シ思ヒ切ツテ覺醒シナクシテ來ルニ今日マデ既ニ覺醒ノ緒ニ就キタリト信ゼラレヌ然ルニ今日マデ既ニ覺醒ノ緒ニ就キタリト信ゼラレシ歐洲方面ノ列國中現ニ一國ヲ擧ゲテ或ハ全ク破壞的混亂狀態ニ陥リ國民擧ツテ塗炭ノ苦ミヲ受ケ始ト收拾